

医療の安全に関する研究会

第11回研究大会

テーマ「患者参加の医療安全 ～一歩進めるためには、今何が必要だろうか～」

日時:2006年12月2日(土) 10:00-17:00

場所:九州大学医学部同窓会館(福岡市東区馬出)

同窓会館は下のマップのうちの、「病院地区」の中にあります。

病院正門から入ってすぐ左に折れ、最も奥の建物です

(手前に百年講堂があり、その後ろの建物です)。

<http://www.kyushu-u.ac.jp/map/accessmap.html#03>

参加費:一般 3000円、会員 2000円、学生 1000円

連絡先:九州大学大学院医学研究院 医療経営・管理学講座(担当:立石)、電話:092-642-6960

午前の部 10:00~12:30

1 研究・実践報告 (10:00-11:00)

1) 酒井俊彰、酒井順哉(名城大学大学院都市情報学研究科保健医療情報学)、
天野 寛(愛知新城大谷大学社会福祉学部)

「看護師の安全マニュアル把握と医療ミスの関連性分析」

2) 森永今日子(北九州市立大学大学院社会システム研究科)

「医療現場におけるエラーの回復過程に関する心理学的研究」

3) 稲津佳世子(九州大学医学研究院医療システム学講座)

「医療決断サポートー(支援員)という試み」

4) 堤 寛(藤田保健衛生大学医学部)

「患者参加によって進める感染防止対策の提案」

2 理事長挨拶 (11:00-11:10)

島田康弘(名古屋大学医学部教授)

3 川柳(講評と表彰) (11:10-11:35)

講評 大木俊秀(NHK学園川柳講座の編集主幹、全日本川柳協会理事)

4 助成研究報告 (11:35-12:00)

報告 酒井順哉(名城大学大学院都市情報学研究科 保健医療情報学教授)

「特定機能病院における医療事故調査委員会の現状と今後のあり方」

5 大会長講演 (12:00-12:30)

講演 山内桂子(医療の安全に関する研究会理事、東京海上日動メディカルサービス(株))

「医療の安全に患者の参加はどのように役立つか—心理学の視点から」

《昼休み 60min》

午後の部 13:30～17:00

5 特別講演 (13:30～14:15)

講演 吉川肇子(リスク心理学 慶應義塾大学助教授)

「医療におけるリスクコミュニケーション～患者にリスクをどう伝えるか」

6 基調講演 (14:15～14:45)

講演 鮎澤純子(九州大学医学研究院、助教授)

「患者参加の医療安全をどう進めるか」

(休憩 10min.)

7 シンポジウム (14:55～16:50)

「患者参加の医療安全～今、現場では」(コーディネーター 鮎澤純子)

(シンポジスト)

朝倉加代子(佐世保中央病院 看護師 専任セーフティマネージャー)

豊田郁子(新葛飾病院 セーフティマネージャー)

剣持邦彦(戸畠共立病院 医師 副院長)

池永満(福岡大学法科大学院教授、弁護士、NPO 法人患者の権利オブズマン理事長)

8 次期大会長挨拶 (16:50～17:00)